

動物実験に関する自己点検・評価報告書

九州看護福祉大学

平成 27 年 5 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 九州看護福祉大学動物実験指針 ・ 九州看護福祉大学動物実験委員会規定
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規定が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 九州看護福祉大学動物実験指針 ・ 九州看護福祉大学動物実験指針
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 九州看護福祉大学動物実験指針 ・ 九州看護福祉大学動物実験委員会規定 ・ 動物実験計画書 ・ 動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則して、動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められ、申請や報告のための各種様式も定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 該当なし。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 該当なし。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州看護福祉大学動物実験指針 ・ 九州看護福祉大学動物実験委員会規定 ・ H26 年度動物実験計画書 ・ H26 年度動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
<p>本学における動物実験は、看護学科学生の教育用にのみ行われている。実験動物数も少なく、平成 26 年度でラット 9 匹のみであった。例年 6-7 月の 2 ヶ月の間に 3 回（3 種類）の実験を実施しており、教育実験の直前に業者より必要な動物匹数を入手している（3-4 匹を 3 回に分けて）。ただ、入手直後は運搬によりラットが弱っているため、2 週間ほど一時的に飼養保管することで体力回復を待ち、実験に供している。この 2 週間の動物飼養保管に際しては、環境温度・湿度、換気、照明、飼料・飲水の供与、施設、逸走防止策等に留意しつつ適切に行っている。</p>
4) 改善の方針、達成予定時期
<p>該当なし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>特になし。</p>

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州看護福祉大学動物実験指針

<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州看護福祉大学動物実験委員会規定 ・ H26 年度動物実験計画書 ・ 実験領域に関する倫理委員会規定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ H26 年度動物実験結果報告書
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の審査、動物実験計画の実施状況及び結果の把握など、指針に則して行っている。</p>	
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。</p>	

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 九州看護福祉大学動物実験指針 ・ 九州看護福祉大学動物実験委員会規定 ・ H26 年度動物実験計画書 ・ H26 年度動物実験結果報告書
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料 該当なし。</p>

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当なし。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 九州看護福祉大学動物実験指針 ・ 九州看護福祉大学動物実験委員会規定 ・ H26 年度動物実験計画書 ・ H26 年度動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物の飼養保管は適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 九州看護福祉大学動物実験指針 ・ 九州看護福祉大学動物実験委員会規定 ・ H26 年度動物実験結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内の飼養保管施設は、適正に維持管理が実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 九州看護福祉大学動物実験指針 ・ 九州看護福祉大学動物実験委員会規定
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験が対象となる授業は1科目であり、授業担当責任者も1人という状況下で、従来から個人的な実施指導を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 授業補助として助教、大学院生など数名が入る形態を採っているため、授業補助員に対する「実験手順等に関するマニュアル」を作成する必要がある。授業担当責任者と協同して作成に当たりたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 九州看護福祉大学動物実験指針 ・ H26 年度動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成 23 年度に九州看護福祉大学動物実験指針を作成・制定したが、それ以前は自己点検・評価

が未実施であった。

4) 改善の方針、達成予定時期

平成 25 年度分から自己点検・評価を実施し、その結果を公表した。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

本学における動物実験は平成 18 年度から行われているが、看護学科学生を対象に、年間 8-10 匹のみを使用しての実施である。その結果、授業担当者と委員会との個人的な折衝に終わっており、全学に向けての公式的な動物実験指針の作成も遅れていた。平成 23 年度に本学動物実験指針を制定し、その規則を基に平成 24 年度からの自己点検・評価を実施し、その結果を平成 25 年に公表した。